


第 258 回 都市懇サロン	「令和3年度 都市計画実務発表会 受賞業務について」		
講 師	「新時代における都市づくり」をテーマに開催されました令和3年度都市計画実務発表会において優秀発表業務として表彰された次の3件について、発表者から詳細に説明していただきます。	開催日	令和4年3月8日(火) 18:00～20:00
講 師 プロフィール	<p>①(株)パスコ 九州事業部 技術センター 空間情報部 副部長 沼川 滋彦さん</p> <p>②復建調査設計(株) 社会デザイン創発センター 主任研究員 天野佑介さん</p> <p>③(株)国際開発コンサルタンツ 東京支店 計画・交通課 氏原茂将さん</p>		画面 上左 ① 上右 ② 下 ③
お話の概要	<p>①建築・都市計画・防災行政DXの実現に向けた基盤データ整備及び共有 ・建築確認台帳と家屋台帳を紐付け、ハイブリット型建築物情報を整備。統合型 GIS や公開型 GIS での情報共有等を通し様々な行政分野における利活用シーンや、3D 都市モデルと連携した利活用方法等を検討。</p> <p>②グリーンスローモビリティの持続可能な活用の可能性 ・全国7地域での環境省による実証支援事業を通し、グリスロの効果・事業性を検証。持続可能な活用に向けて、グリスロの特長を活かし活用の幅を広げることや、地域と連携し運賃外収入の確保につなげる可能性を検証していくことが課題。</p> <p>③公共交通の維持・充実と立地適正化を一体的に図るコンパクト・プラス・ネットワーク ～厚木市の都市づくり事例～ ・立地適正化計画と地域公共交通計画を一体的に扱うコンパクト・プラス・ネットワーク推進計画を検討。公共交通を軸に移動しやすさと居住地近隣での暮らしやすさの向上、居住地の面積を維持したまま、ネットワークの観点からコンパクト化の実現を図ることが計画の特長。</p>		
意見交換の概要	<p>①基礎データを構築する上で、ベースとなるデータの形式は決まっているのか。国際基準との関係はあるのか。 ⇒特定のフォーマットが決まっているわけでない。API でデータ連携できればよく、CSV で書き出せれば問題ない。3D 都市モデルについては、シンガポール等の海外事例を参考にしながら、PLATEAU 等でも仕様が明確に定められている。</p> <p>②マネタイズしていく上での各費目での具体的な費用感が分かれば教えてほしい。 ⇒中々黒字化していくことは難しく、収支面の分析が必要。鳥取県大田市の石見銀山の観光地で実証事件をしているグリスロでは、交通チケットと観光の鑑賞チケットをバンドリングすることで相互に収益を確保するモデル等を検討している。</p> <p>③市街化区域のほとんどを居住誘導区域に設定しているということに対して、もっとコンパクトにするべきという指摘はなかったのか。 ⇒居住誘導区域が飛び地となっている郊外の住宅団地部分等は、関東地整との協議で指摘を受けたが、バス交通の維持することによる負のスパイラルの回避のために、市が粘り強く協議したと聞いている。</p>		
記録者のひとこと	<p>「新時代における都市づくり」がテーマでの受賞業務であり、いずれの業務においても、先例が少ない中でチャレンジングな試み・検討がされており大変参考となった。一方で、新たな技術・取組みを実現し、持続的なまちづくりにつなげていくことに対する課題は多く、このような検証を積み重ねながら一歩ずつ進めていくことの大切さを改めて認識した。</p> <p style="text-align: right;">≪都市懇サロン運営部会 委員 森川 禎二郎≫</p>		

★★ 都市懇サロン レポート作成のお願い ★★

○文字： 10.5ポイント MSゴシック

ただし、《タイトル》のみ 12ポイント MSゴシック

でお願いします。

○講師のプロフィール、写真は協会にて作成します。

※協会にて事前に講師プロフィール・写真を挿入したデータを、筆記担当者あてメールにて送信いたします。

○お話の概要並びに意見交換の概要の内容配分は、変更してもかまいません。

(ただし、A4サイズ 1枚に収まるようにお願いします。)

お話の概要・・・・・・・・・・必要に応じて、詳細な内容については、**別紙として**講師の用意した資料、パワーポイント等を(講師の許可を得て)掲載してもかまいません。

○協会への提出時期

おおむね、1ヶ月ぐらいで協会へデータをメールにて送信ください。

《問い合わせ先》

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-12-18 ハイツニュー平河 3F

一般社団法人都市計画コンサルタント協会 事務局

T E L : 03-3261-6058

F A X : 186-03-3261-5082

E-Mail : inf @toshicon.or.jp

事務局：木村